

令和6年度当初予算案及び令和5年度補正予算における宇宙関係予算

内閣府
宇宙開発戦略推進事務局

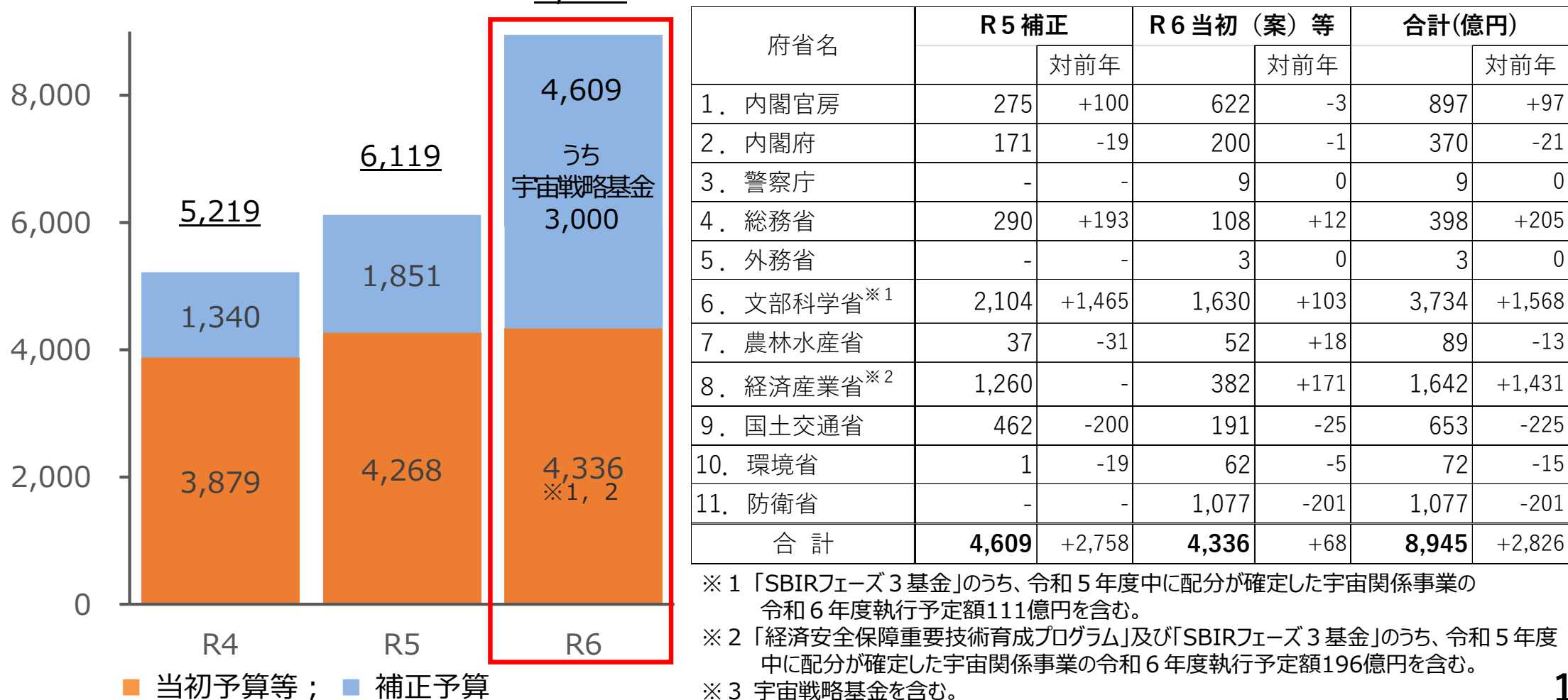
合計 8,945 億円 (対前年度比 2,826億円増 [+46%])

令和6年度当初予算案等 (※1, 2) 4,336億円 + 令和5年度補正予算 (※3) 4,609億円)
(令和5年度当初予算 + 令和4年度補正予算 6,119億円)

(単位：億円)

8,945

(四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。)



主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計：8,945億円

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	<u>897億円</u>	【農林水産省】	<u>89億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	897億円	● スマート農業技術の開発・実証・実装プロジェクト	30億円
【内閣府】	<u>370億円</u>	● 地理情報共通管理システム（eMAFF地図）の利用の推進	29億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	240億円	【経済産業省】	<u>1,642億円</u>
● 宇宙開発利用推進費	120億円	● 宇宙戦略基金（経産省計上分）	1,260億円
● 中央防災無線網の運用等	3億円	● 小型衛星等の競争力強化に向けた研究開発	16億円
【警察庁】	<u>9億円</u>	● マイクロ波無線電力伝送による	4億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9億円	宇宙太陽光発電システムの開発	
【総務省】	<u>398億円</u>	※この他、Kプロ及びSBIRフェーズ3基金の執行予定額	
● 宇宙戦略基金（総務省計上分）	240億円	合計196億円を含む	
● 10Gbps級の高速光通信技術の開発	300億円の内数	【国土交通省】	<u>653億円</u>
● 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発	4億円	● 準天頂衛星システムを利用した	10億円
【外務省】	<u>3億円</u>	衛星航法サービスの高度化	
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	● 人工衛星の測量分野への利活用	62億円
【文部科学省】	<u>3,734億円</u>	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25億円
● 宇宙戦略基金（文科省計上分）	1,500億円	● 次期静止気象衛星の整備	214億円
● H3ロケットの開発・高度化	263億円	【環境省】	<u>72億円</u>
● イプシロンSロケットの開発	97億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	52億円
● 将来宇宙輸送システムロードマップ実現		【防衛省】	<u>1,077億円</u>
に向けた研究開発	27億円	● 宇宙領域把握（SDA）衛星の整備	121億円
● 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）	119億円	● 画像解析用データの取得	233億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	261億円	● 衛星通信システムの抗たん性向上	74億円
うち有人と圧ローバ開発のフロントローディング	40億円		
うち火星衛星探査計画（MMX）	50億円		
● 深宇宙探査実証機（DESTINY+）	35億円		
※この他、SBIRフェーズ3基金の執行予定額合計111億円を含む。		※ 宇宙戦略基金の創設 合計 3,000億円	

宇宙開発戦略推進事務局の令和6年度予算案

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

R6当初167.1億円+R5補正73.1億円 計 240.1億円

(※R5当初167.5億円+R4補正予算82.5億円 計250億円)

- 持続測位が可能となる7機体制の確立に向けた開発・整備
- 11機体制に向けた具体的な検討を開始



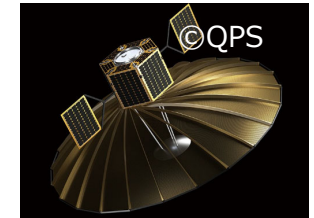
準天頂衛星「みちびき」

2. 宇宙開発利用推進費

R6当初23.0億円+R5補正96.9億円 計 119.9億円

(※R5当初23.0億円+R4補正107.5億円 計130.5億円)

- 衛星・月面関連技術など、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進



SAR衛星コンステレーション
利用実証

3. その他（調査、事務費等）

9.2億円 (※R5当初9.2億円)

R6当初199.3億円 + R5補正 170.0億円 合計 369.2億円

(※R5当初199.7億円+R4補正予算190.0億円 計 389.7億円)

(参考) 宇宙戦略基金の創設

R5補正 3,000億円【総務省240億円、文科省1,500億円、経産省1,260億円】

- 今後策定する「宇宙技術戦略」等を踏まえ、内閣府主導の下、文科省・経産省・総務省と連携し、我が国の宇宙活動の拡大に向けた技術開発テーマを設定。
- 民間企業、スタートアップ、大学・国研等に対する、先端技術開発、技術実証、商業化等の支援を推進する。